




初期設定

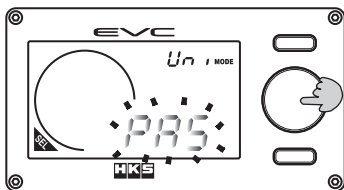
初期設定とは、表示する圧力単位や排気バイパスタイプの設定、目標ブーストの設定、また車両が持っているブーストの変化特性をEVCに記憶させる操作です。

初めて使用する場合や、オールリセットを行った場合には自動的に初期設定画面に移行しますので、下記の方法に従って操作してください。

操作マークの説明 : 短く押す : ボリュームを回す : 1秒以上押し続ける

1. 圧力単位設定

ブースト表示における圧力単位を設定します。kgf/cm²とPSIとkPaの関係性については20ページを参照してください。

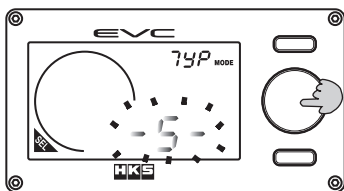


- (1) ボリュームを回して圧力単位を選択してください。
 - ・デジタル表示(小)は[Un]と表示されています。
 - ・設定はPAS(kPa)もしくはPSIから選択できます。

- (2) 選択後ボリュームを押すと表示単位は決定され、「2. 排気バイパスタイプ設定」へと移ります。

2. 排気バイパスタイプ設定

ブーストコントロール方式を決定する為、排気バイパスタイプを設定します。純正ターボに多く見られるアクチュエータを使用するタイプの場合はシングルバルブタイプとなります。大容量ターボに多く見られるウエストゲートを使用するタイプの場合は、ポペットバルブタイプとなります。

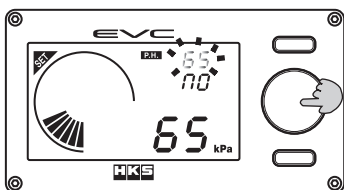


- (1) ボリュームを回して排気バイパスタイプを選択してください。
 - ・デジタル表示(小)は[75P]と表示されています。
 - ・設定は-S-(シングルバルブタイプ)もしくは-P-(ポペットバルブタイプ)から選択できます。

- (2) 選択後ボリュームを押すと排気バイパスタイプは決定され、「3. ノーマル最大ブースト設定」へと移ります。

3. ノーマル最大ブースト設定

EVC取付け後のノーマル最大ブーストを設定します。手動または自動での設定が可能です。

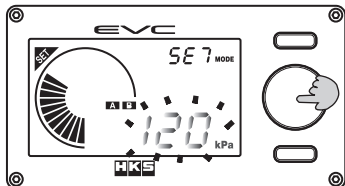


- (1) EVC取付け後のノーマル最大ブーストが分かっている場合は、ボリュームを回してノーマル最大ブーストを設定して下さい。ノーマル最大ブーストが分からない場合は、最大ブーストがかかる様に走行する事でデジタル表示(小)にノーマル最大ブーストが自動的に設定されます。
 - ・車速/エンジン回転数表示は[ng]と表示されています。
 - ・デジタル表示(大)は現在のブーストを表示します。
 - ・設定値は最大250kPaまたは36.0PSIまで設定が可能です。

- (2) デジタル表示(小)にノーマル最大ブーストが表示されている状態でボリュームを押すと、ノーマル最大ブーストは決定され、「4. 初期設定ブースト設定」へと移ります。

4. 初期設定ブースト設定

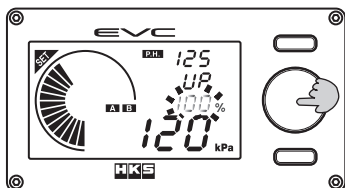
初期設定における目標ブーストの設定を行います。



- (1) ボリュームを回して任意の目標ブーストを設定して下さい。
 - ・デジタル表示(小)は「5E7」と表示されています。
 - ・ここで設定した目標ブーストは、通常モードのA/B両モード共通の初期値となります。
 - ・設定値はノーマルブースト～250kPaまたは36.0PSIまで設定可能となります。
- (2) 設定後ボリュームを押すと目標ブーストは決定され、「5. 初期オフセット設定」へと移ります。

5. 初期オフセット設定

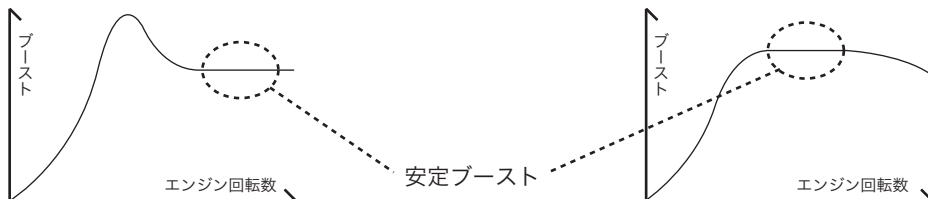
初期オフセットの設定を行います。設定した目標ブーストにならない場合に初期オフセット値を増減させることで、目標ブーストに合わせることが出来ます。



- (1) この状態で最大ブーストがかかる様に走行し、目標ブーストと実際の最大ブーストにズレがあった場合に、ボリュームを回してズレがなくなるように設定して下さい。
 - ・車速/エンジン回転数表示は「125」と表示されています。
 - ・設定値は1～199%の範囲で、1%単位で変更できます。
 - ・設定値を増やすとブーストは上がり、減らすと下がります。初期状態では、100%が設定されています。
 - ・デジタル表示(小)はピークホールド値を表示し、デジタル表示(大)は現在のブーストを表示します。
- (2) 設定後ボリュームを押すと初期オフセットは決定され、初期設定は終了となり「3. 通常モード」へと移ります。

参考

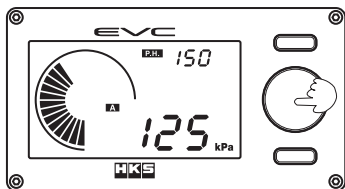
- ・過給圧ソレノイドバルブが装着されている車両では、EVC取付け後のノーマル最大ブーストはEVC取付け前よりも低くなります。
 - ・下記のような諸事情により車両によって最大ブーストが250kPaまで上がらない場合があります。
 - (a) ウエストゲートバルブまたはアクチュエータのセット荷重(バネの力)が低い。
 - (b) 排気抵抗による排気圧力の上昇。
 - ・下記のような諸事情によりブーストが安定しない場合がありますが、EVCが原因によるものではありません。
 - (a) ウエストゲートバルブの面積、及びストローク不足。また、アクチュエータの特性によるブーストの上昇・下降。
 - (b) タービン風量がエンジン排気量に比べて不足していたり、排気圧力の上昇によるブーストの上昇・下降。
- 従って、取付け前の車両の状態・仕様をよく把握したうえで各設定値の設定を行ってください。
- ・「3. ノーマル最大ブースト設定」では、下図のようなオーバーシュートや高回転でのたれ以外の安定したブーストを設定してください。「5. 初期オフセット設定」も同様の条件で調整してください。



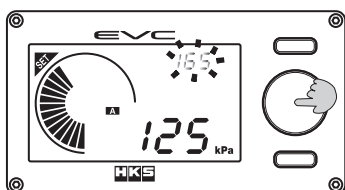
通常モード

1. ブーストコントロール

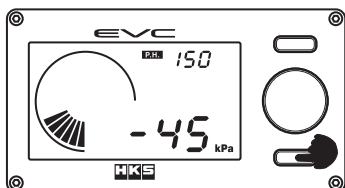
A/Bモードの切替、目標ブーストの設定、EVCのパワーON/OFF切替を行うことができます。



- (1) 「通常モード」の時に、ボリュームを押してください。
 - ・ピッと鳴り、「P.H.」表示が消えてデジタル表示(小)がピーク表示から目標ブースト設定値に変わり、点滅します。
 - ・「SET」が点灯します。
 - ・左図はAモードの場合を示しています。Bモードを設定する場合は、ボリュームを回してBモードにしてからボリュームを押してください。



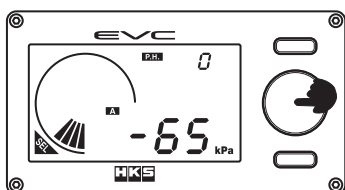
- (2) ボリュームを回して目標ブーストを設定してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。
 - ・ピッと鳴り、ピークホールド値表示状態に戻ります。
 - ・設定値はノーマルブースト～250kPa/36,0PSIが設定可能となります。
 - ・初期設定で入力した目標ブーストが、A/Bモード共に初期値として設定されています。



- (3) EVCのパワーON/OFFを切り替える場合、「通常モード」の時にボタン②を1秒以上押し続けてください。
 - ・ピーッと鳴り、パワー状態が切り替わります。
 - ・パワーがOFFになるとA/Bインジケータ、車速/エンジン回転数表示、スロットル開度表示は消灯します。

2. ピークホールド

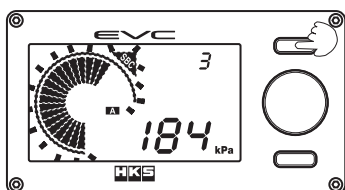
EVCを通常モードで使用中にブーストのそれまでの最高値を表示します。ピークホールド値の更新は自動的に行われます。また、ピークホールド値をリセットする場合は、下記操作を行ってください。



- (1) 「通常モード」の時に、ボリュームを1秒以上押し続けてください。
 - ・デジタル表示(小)のピークホールド値が0kPaまたは0.0PSIにクリアされます。

3. スクランプル

ボタン①、または外部スクランブルスイッチを押すとスクランブルが作動します。

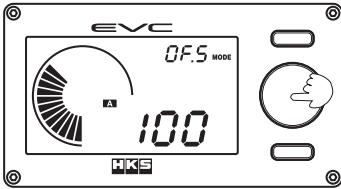


- (1) 「通常モード」の時にボタン①、または後付けした外部スクランブルスイッチを押してください。
 - ・スクランブル動作中はビビビ…と鳴ります。
 - ・ボタン(スイッチ)を押している間とボタン(スイッチ)を離してから設定された時間の間は、スクランブルは動作しています。
 - ・バーグラフと「SBC」が点滅し、デジタル表示(小)はスクランブルの残り時間を表示します。

基本設定グループ

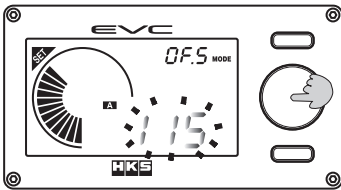
1. オフセット A 設定モード/オフセット B 設定モード

AモードまたはBモードの目標ブーストに対するズレを調整することが出来ます。



(1) 「オフセット A 設定モード」または「オフセット B 設定モード」の時にボリュームを押してください。

- ・デジタル表示(小)は[0FS]と表示されています。
- ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SET"が点灯します。
- ・左図はオフセット A 設定モードの場合を示しています。

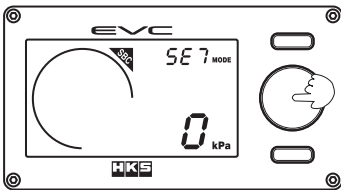


(2) ボリュームを回して、オフセット A またはオフセット B を設定してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。

- ・設定値は 1~199% の範囲で、1% 単位で変更できます。
- ・初期状態では、100% が設定されています。
- ・排気バイパスタイプに関係なく、設定値を大きくするとブーストは上がり、小さくすると下がります。

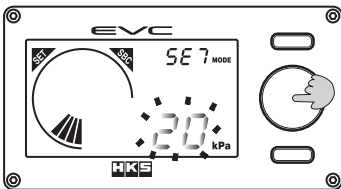
2. スクランブルブースト設定モード

スクランブルを作動させると、ここで設定した値を目標ブーストにプラスすることができます。



(1) 「スクランブルブースト設定モード」の時にボリュームを押してください。

- ・デジタル表示(小)は[5g]と表示されています。
- ・"SBC"が点灯しています。
- ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SET"が点灯します。

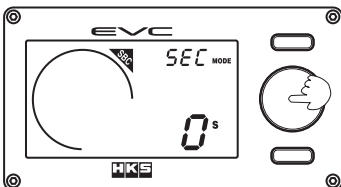


(2) ボリュームを回して、スクランブルブーストを設定してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。

- ・設定値は圧力単位がkPaの時0~120kPaの範囲で、1kPa単位で変更できます。PSIの時0.0~17.0PSIで、0.1PSI単位です。
- ・初期状態では、0kPaまたは0.0PSIが設定されています。

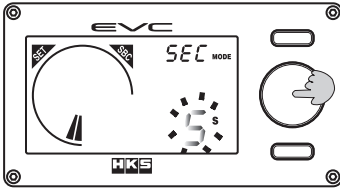
3. スクランブル時間設定モード

スクランブルを作動させると、ここで設定した時間だけスクランブル設定モードで設定した値をプラスすることができます。



(1) 「スクランブル時間設定モード」の時にボリュームを押してください。

- ・デジタル表示(小)は[5E]と表示されています。
- ・"SBC"が点灯しています。
- ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SET"が点灯します。



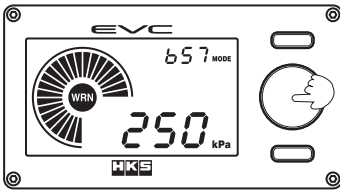
- (2) ボリュームを回して、スクランブル時間を設定してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。
- ・設定値は、0~60秒の範囲で、1秒単位で変更できます。
 - ・初期状態では、0秒が設定されています。

参考

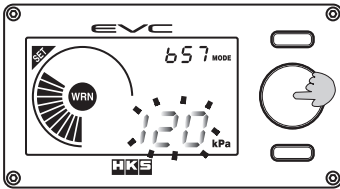
・ボタン①を押している間は、スクランブルは作動しますが、スクランブル時間のカウントは行いません。ボタンを離れたときからカウントします。例えば、スクランブル時間の設定を0秒にしたときは、ボタンを押している間だけスクランブルが作動します。外部スクランブルスイッチの場合も同様です。

4. ワーニングブースト設定モード

ここで設定したブーストをサージタンク圧が超えると、ワーニングが作動します。ワーニング作動時は、設定により強制的にノーマルブーストに下げたり、任意の値分下げたりします。



- (1) 「ワーニングブースト設定モード」の時にボリュームを押してください。
- ・デジタル表示(小)は[b57]と表示されています。
 - ・"WRN"が点灯しています。
 - ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
 - ・"SET"が点灯します。



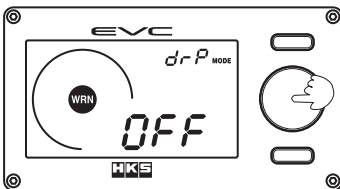
- (2) ボリュームを回して、ワーニングブーストを設定してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。
- ・設定値は、圧力単位がkPaの時0~250kPaの範囲で1kPa単位で変更できます。PSIの時0.0~36.0PSIで、0.1PSI単位で変更できます。また、機能OFFも選択できます。
 - ・初期状態では、250kPaまたは36.0PSIが設定されています。

参考

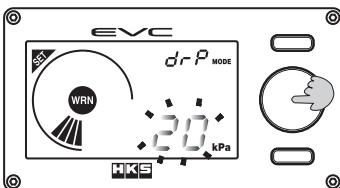
・サージタンク圧が5kPa以下になるとワーニングが解除されます。

5. ドロップブースト設定モード

ワーニングが作動した際に、降下させるブーストを設定します。



- (1) 「ドロップブースト設定モード」の時に、ボリュームを押してください。
- ・デジタル表示(小)は[drP]と表示されています。
 - ・"WRN"が点灯しています。
 - ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
 - ・"SET"が点灯します。

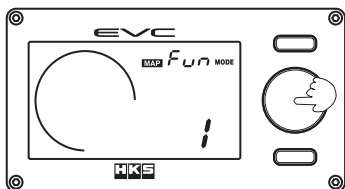


- (2) ボリュームを回して、ドロップブーストを設定してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。
- ・設定値は、圧力単位がkPaの時1~120kPaの範囲で1kPa単位で変更できます。PSIの時0.1~17.0PSIで、0.1PSI単位で変更できます。
 - ・初期状態では、OFF(ノーマルブーストへ下げる)が設定されています。

マップ設定グループ

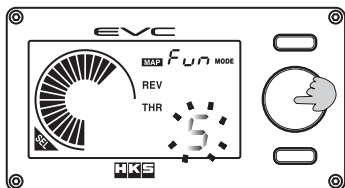
1. マップ機能設定モード

過給圧補正マップのオン/オフや、使用する信号を選択します。



(1)「マップ機能設定モード」の時に、ボリュームを押してください。

- ・デジタル表示(小)は[Fun]と表示されています。
- ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SEL"が点灯します。



(2)ボリュームを回して、機能の選択をしてください。
設定が終了したらボリュームを押して決定します。

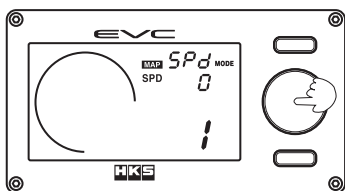
- ・設定は1:マップを使用しない/2:スロットル開度補正(THR)/3:エンジン回転数補正(REV)/4:車速補正(SPD)/5:REV+THR/6:SPD+THRの6種類から選択できます。
- ・初期状態では、1が設定されています。
- ・左図は5を選択した場合を示しています。

参考

- ・選択した信号のみ、通常モードでは表示します。

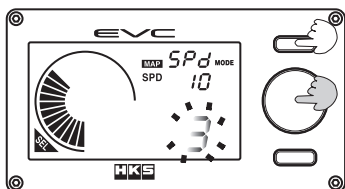
2. 車速軸格子点設定モード

マップに使用する、車速軸格子点(車速によるマップの分割点)を変更することができます。



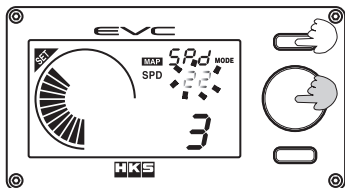
(1)「車速軸格子点設定モード」の時に、ボリュームを押してください。

- ・デジタル表示(小)は[SPD]と表示されています。
- ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SEL"が点灯します。
- ・表示される車速は、実際の1/10となります。
- ・格子点は全部で5つあり、車速の小さい方から順に格子点番号1~5が対応します。



(2)ボリュームを回して、変更する格子点を選択してください。
ボタン①を押して、対応する車速を変更します。

- ・格子点番号を変更すると、対応する車速設定の表示も変化します。
- ・ボタン①を押すと(3)へ移動し、"SEL"が消灯し"SET"が点灯して、デジタル表示(大)の点滅から、車速/エンジン回転数表示の点滅へと変わります。



(3)ボリュームを回して、格子点に対応した車速を変更して下さい。

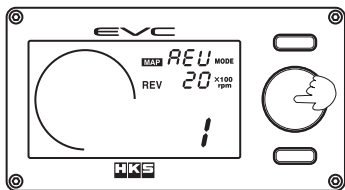
- ・他の格子点に対応した車速を変更する場合は、ボタン①を押して(2)に戻して下さい。変更しない場合はボリュームを押して下さい。

参考

- ・初期値は格子点番号が小さい方から順に、0km/h、50km/h、100km/h、150km/h、200km/hです。
- ・設定可能な範囲は、変更する格子点の1つ前の格子点(格子点番号が1小さい格子点)の設定値+10km/hが最小値となり、1つ後の格子点(格子点番号が1大きい格子点)の設定値-10km/hが最大値となります。但し、0km/h~500km/hの範囲を超えて設定することはできません。

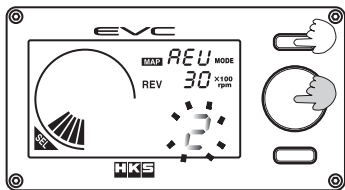
3. エンジン回転軸格子点設定モード

マップに使用する、エンジン回転軸格子点(エンジン回転数によるマップの分割点)を変更することができます。



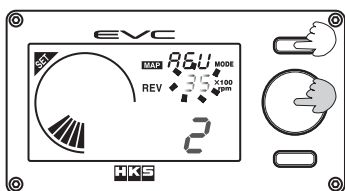
(1)「エンジン回転軸格子点設定モード」の時に、ボリュームを押してください。

- ・デジタル表示(小)は[REV]と表示されています。
- ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SEL"が点灯します。
- ・表示されるエンジン回転数は、実際の1/100となります。
- ・格子点は全部で5つあり、エンジン回転数の小さい方から順に格子点番号1~5が対応します。



(2)ボリュームを回して、変更する格子点を選択してください。ボタン①を押して、対応するエンジン回転数を変更します。

- ・格子点番号を変更すると、対応するエンジン回転数設定の表示も変化します。
- ・ボタン①を押すと(3)へ移動し"SEL"が消灯し"SET"が点灯して、デジタル表示(大)の点滅から、車速/エンジン回転数表示の点滅へと変わります。



(3)ボリュームを回して、格子点に対応したエンジン回転数を変更してください。

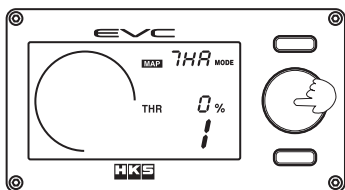
- ・他の格子点に対応したエンジン回転数を変更する場合は、ボタン①を押して(2)に戻ってください。変更しない場合はボリュームを押して下さい。

参考

- ・初期値は格子点番号が小さい方から順に、2000rpm、3000rpm、4000rpm、5000rpm、6000rpmです。
- ・設定可能な範囲は、変更する格子点の1つ前の格子点(格子点番号が1小さい格子点)の設定値+100rpmが最小値となり、1つ後の格子点(格子点番号が1大きい格子点)の設定値-100rpmが最大値となります。但し、0rpm~12000rpmの範囲を超えて設定することはできません。

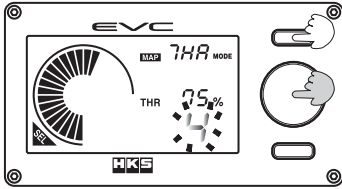
4. スロットル軸格子点設定モード

マップに使用する、スロットル軸格子点(スロットル開度によるマップの分割点)を変更することができます。

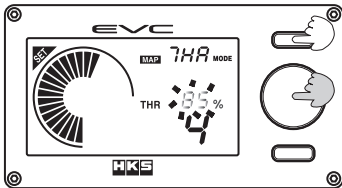


(1)「スロットル軸格子点設定モード」の時に、ボリュームを押してください。

- ・デジタル表示(小)は[THR]と表示されています。
- ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SEL"が点灯します。
- ・格子点は全部で5つあり、スロットル開度の小さい方から順に格子点番号1~5が対応します。



- (2)ボリュームを回して、変更する格子点を選択してください。ボタン①を押して、対応するスロットル開度を変更します。
- ・格子点番号を変更すると、対応するスロットル開度設定の表示も変化します。
 - ・ボタン①を押すと(3)へ移動し、"SEL"が消灯"SET"が点灯して、デジタル表示(大)の点滅からスロットル開度表示の点滅へと変わります。



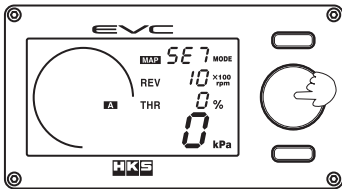
- (3)ボリュームを回して、格子点に対応したスロットル開度を変更してください。
- ・他の格子点に対応したスロットル開度を変更する場合は、ボタン①を押して(2)に戻ってください。変更しない場合はボリュームを押して下さい。

参考

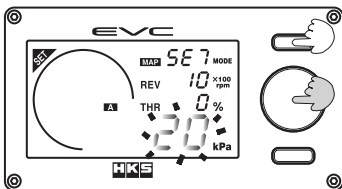
- ・初期値は格子点番号が小さい方から順に、0%、25%、50%、75%、100%です。
- ・設定可能な範囲は、変更する格子点の1つ前の格子点(格子点番号が1小さい格子点)の設定値+1%が最小値となり、1つ後の格子点(格子点番号が1大きい格子点)の設定値-1%が最大値となります。但し、0%~100%の範囲を超えて設定することはできません。

5. ブースト補正マップA設定モード/ブースト補正マップB設定モード

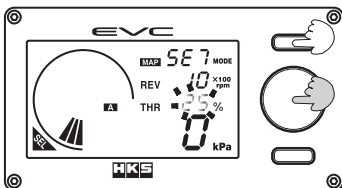
ここで設定したブースト補正マップ設定値をもとにスロットル開度とエンジン回転数または車速に応じた補正ブーストを算出し、通常モードで設定したA/B各モード設定ブーストに対して補正を行います。



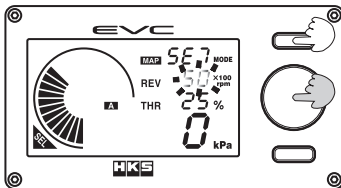
- (1)「ブースト補正マップA設定モード」の時、または「ブースト補正マップB設定モード」の時にボリュームを押してください。
- ・デジタル表示(小)は「5E7」と表示されています。
 - ・ピットと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
 - ・"SET"が点灯します。
 - ・左図は「5.1. マップ機能選択モード」で5を選択した場合の、ブースト補正マップA設定モードの場合を示しています。



- (2)ボリュームを回して、ブースト補正值を設定してください。
- ・他の軸に対応するブースト補正值を変更する場合はボタン①を押してください。
 - ・ボタン①を押すと(3)へ移動し、"SET"が消灯"SEL"が点灯して、デジタル表示(大)の点滅から、スロットル開度表示の点滅へと変わります。



- (3)ボリュームを回して、スロットル開度軸を移動してください。ボタン①を押すと、車速/エンジン回転軸の移動が可能になります。
- ・ボタン①を押すと(4)へ移動し、スロットル開度表示は点灯状態となり、車速/エンジン回転数表示が点滅へと変わります。



(4)ボリュームを回して、エンジン回転軸を移動してください。
ボタン①を押すと、ブースト補正值設定へと戻ります。

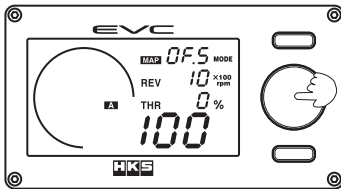
- ・ボタン①を押すと(2)へ移動し、車速/エンジン回転数表示は点灯状態となり、デジタル表示(大)表示の点滅へと変わります。
- ・全ての設定が終了したらボリュームを押して下さい。

参考

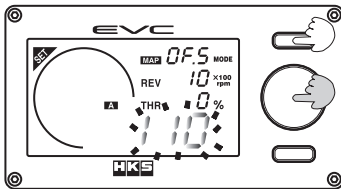
- ・初期値はすべてのマップ格子点で、±0kPaもしくは±0.0PSIです。
- ・設定可能な範囲は、-120kPa~120kPaもしくは-17.0PSI~17.0PSIです。
- ・近接するマップ格子点で極端に差をつけしないでください。ブースト制御が安定しない原因となります。

6. オフセットマップA設定モード/オフセットマップB設定モード

通常は設定する必要はありませんが、ここで設定するオフセットマップ設定値によって、スロットル開度とエンジン回転数または車速に応じてA/B各モード設定ブーストに対する微調整が出来ます。

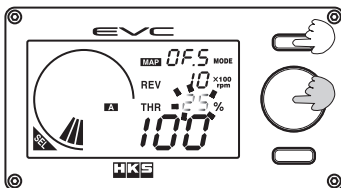


(1)「オフセットマップA設定モード」の時、または「オフセットマップB設定モード」の時にボリュームを押してください。
・デジタル表示(小)は[OFS]と表示されています。
・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
・"SET"が点灯します。
・左図は「1. マップ機能選択モード」で5を選択した場合の、オフセットマップA設定モードの場合を示しています。



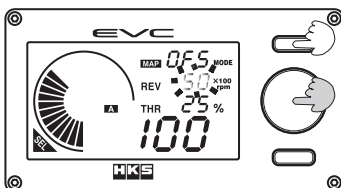
(2)ボリュームを回して、オフセットマップ値を設定してください。

- ・他の軸に対応するオフセットマップ値を変更する場合はボタン①を押してください。
- ・ボタン①を押すと(3)へ移動し、"SET"が消灯・"SEL"が点灯して、デジタル表示(大)の点滅から、スロットル開度表示の点滅へと変わります。



(3)ボリュームを回して、スロットル開度軸を移動してください。
ボタン①を押すと、エンジン回転軸の移動が可能になります。

- ・ボタン①を押すと(4)へ移動し、スロットル開度表示は点灯状態となり、車速/エンジン回転数表示が点滅へと変わります。



(4)ボリュームを回して、エンジン回転軸を移動してください。
ボタン①を押すと、オフセットマップ値設定へと戻ります。

- ・ボタン①を押すと(2)へ移動し、車速/エンジン回転数表示は点灯状態となり、デジタル表示(大)表示の点滅へと変わります。
- ・全ての設定が終了したらボリュームを押して下さい。

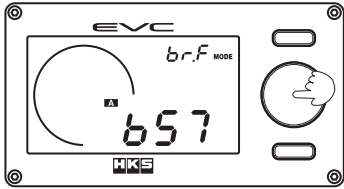
参考

- ・初期値は全てのマップ格子点で、100%です。
- ・設定可能な範囲は、1%~199%です。
- ・近接する点で極端に差をつけしないでください。ブースト制御が安定しない原因となります。

機能設定グループ

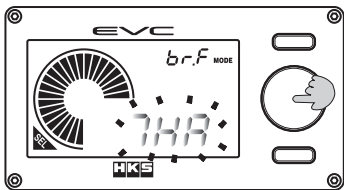
1. バーグラフ機能設定モード

通常モードでバーグラフに表示するデータを選択します。



(1) 「バーグラフ機能設定モード」の時に、ボリュームを押ししてください。

- ・デジタル表示(小)は[*br.f*]と表示されています。
- ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SEL"が点灯します。



(2) ボリュームを回して、バーグラフで表示するデータを選択してください。設定が終了したらボリュームを押しして決定します。

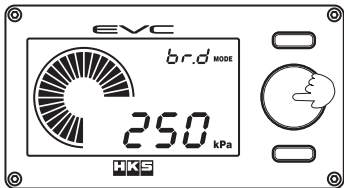
- ・設定は **b S T A** / **b S T B** / SPd / REV / THR の5種類から選択できます。
- ・初期状態では、**b S T A** が設定されています。

参考

- ・ **b S T A** はブースト表示Aです。-100～最大250 kPa または、-14, 0～最大36, 0 PSI の範囲でバーグラフが動作します。
- ・ **b S T B** はブースト表示Bです。0～最大250 kPa または、0, 0～最大36, 0 PSI の範囲でバーグラフが動作します。
- ・ SPd は車速表示です。0～最大50×10 km/h の範囲でバーグラフが動作します。
- ・ REV はエンジン回転数表示です。0～最大120×100 rpm の範囲でバーグラフが動作します。
- ・ THR はスロットル開度表示です。0～最大100% の範囲でバーグラフが動作します。

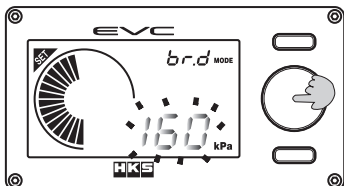
2. バーグラフ最大値設定モード

通常モードでバーグラフが全て表示される値を設定します。



(1) 「バーグラフ最大値機能設定モード」の時に、ボリュームを押ししてください。

- ・デジタル表示(小)は[*br.d*]と表示されています。
- ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SET"が点灯します。



(2) ボリュームを回して、バーグラフが全て表示される値を設定してください。設定が終了したらボリュームを押しして決定します。

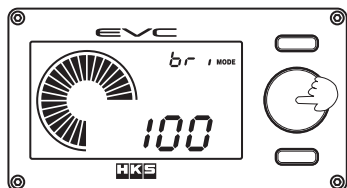
- ・左図は「1. バーグラフ機能設定」で、**b S T A** または **b S T B** を選択した場合を示しています。
- ・設定可能最大値は「1. バーグラフ機能設定」での選択により変化します。

参考

- ・バークラフ機能設定モードでb S T **A**またはb S T **B**を選択していた場合の最大値は250 k P aもしくは36.0 P S Iとなり、S P dを選択していた場合の最大値は50×10 km/hとなり、R E Vを選択していた場合の最大値は120×100 r p m、T H Rを選択していた場合の最大値は100%となります。
- ・最小値は「1. バークラフ機能設定モード」で、どれを選択していた場合でも0となります。
- ・初期状態では、「1. バークラフ機能設定モード」による各設定での最大値が設定されています。

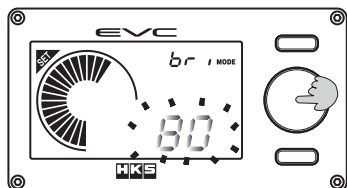
3. バックライト輝度設定モード

バックライトの輝度を設定します。



(1) 「バックライト輝度設定モード」の時に、ボリュームを押してください。

- ・デジタル表示(小)は[br 1]と表示されています。
- ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SET"が点灯します。



(2) ボリュームを回して、バックライト輝度値を設定してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。

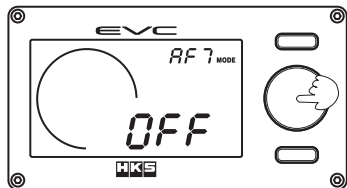
- ・設定値は0~100%の範囲で、1%単位で変更出来ます。
- ・設定値が小さくなるほど、表示は暗くなります。
- ・初期状態では、100%が設定されています。

参考

- ・ヘッドライトのON/OFFには連動しません。

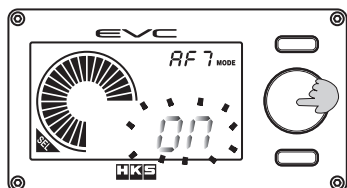
4. アフターイメージ設定モード

通常モードでブーストが正圧から負圧になった時に、その時かかっていた最大ブーストを3秒間デジタル表示(大)に点滅表示する機能です。



(1) 「アフターイメージ設定モード」の時に、ボリュームを押してください。

- ・デジタル表示(小)は[AF 7]と表示されています。
- ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SEL"が点灯します。

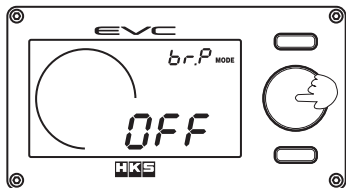


(2) ボリュームを回して、機能のON/OFFを設定してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。

- ・初期状態では、OFFになっています。

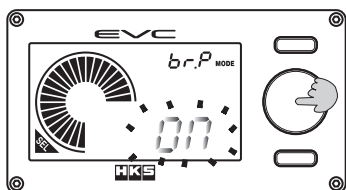
5. バーグラフピーク設定モード

バーグラフでのピーク表示をする機能です。



(1) 「バーグラフ設定モード」の時に、ボリュームを押してください。

- ・デジタル表示(小)は[br.P]と表示されています。
- ・ピット鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SEL"が点灯します。



(2) ボリュームを回して、機能の ON/OFF を設定してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。

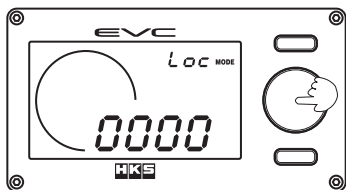
- ・初期状態では、OFF になっています。

参考

- ・バーグラフが下降する時、その時表示していた最大値が1マス残ります。
- ・「1. バーグラフ機能設定モード」で b S T **A** または b S T **B** を選択していた場合、正圧がかかっていた時のみ最大値が1マス残ります。

6. データロック設定モード

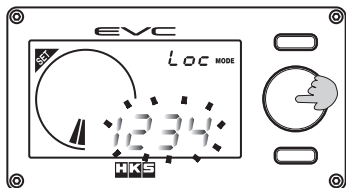
各設定値を変更したくない時に暗証番号(ロックナンバー)を設定して、データロック機能を使用します。



(1) 「データロック設定モード」の時に、ボリュームを押してください。

- ・デジタル表示(小)は[Loc]と表示されています。
- ・ピット鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
- ・"SEL"が点灯します。
- ・デジタル表示(大)は、以下のように表示されます。

"0000" : ロックナンバー未設定
"-----" : ロックナンバー設定済み



(2) ボリュームを回して、ロックナンバーを設定してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。

- ・データロックを設定する場合は、任意のロックナンバーを入力してください。
- ・データロックを解除する場合は、設定したロックナンバーを入力してください。
- ・初期状態では、0000(データロック解除)が設定されています。

参考

- ・ロックナンバーが設定されている時は、機能設定グループ(バーグラフ機能設定、バーグラフ最大値設定、バックライト輝度設定、アフターイメージ設定、バーグラフピーク設定、データロック設定)以外の設定値変更ができません。上記以外の設定値を変更する場合は、データロック機能を解除する必要があります。
- ・ロックナンバーを忘れてしまった場合は、「6. オールリセットモード」にてリセットを行ってください。ただし、リセットを行うと記録されている設定値がすべてクリアされますので、どうしても設定したロックナンバーが分からなくなってしまった時にのみ行ってください。

車両設定グループ

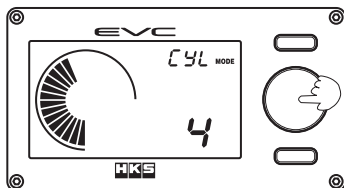
EVCの機能を100%活用するためには、車両毎に固有の設定を行ってください。

⚠ 注意

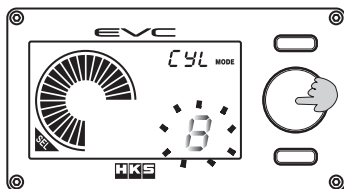
●必ずエンジンが停止した状態で設定してください。

1. 気筒数設定モード

エンジン回転信号入力を使用する場合に、エンジンの気筒数を設定します。



- (1) 「気筒数設定モード」の時に、ボリュームを押してください。
- ・デジタル表示(小)は[CYL]と表示されています。
 - ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
 - ・"SEL"が点灯します。



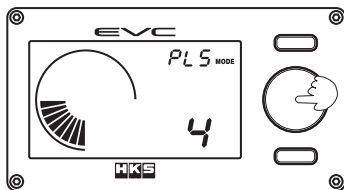
- (2) ボリュームを回して、気筒数を選択してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。
- ・設定値は、1・2・3・4・6・8のいずれかを選択できます。
 - ・初期状態では、4気筒が設定されています。

参考

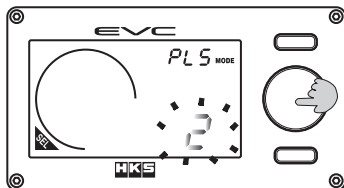
・ロータリーエンジンの場合、2ローター車は4、3ローター車は6を選択してください。

2. 車速パルス設定モード

車速信号入力を使用する場合に、車速パルスの設定をします。



- (1) 「車速パルス設定モード」の時に、ボリュームを押してください。
- ・デジタル表示(小)は[PLS]と表示されています。
 - ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
 - ・"SEL"が点灯します。



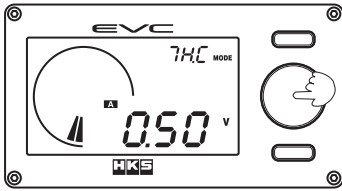
- (2) ボリュームを回して、車速パルスを選択してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。
- ・設定値は、2・4・8・16のいずれかを選択できます。
 - ・初期状態では、4パルスが設定されています。

参考

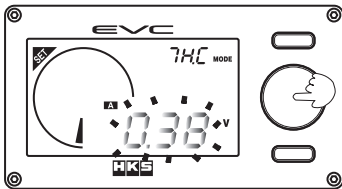
・Y32系セドリック/グロリア/シーマは16パルス、その他の日産車は2パルス、上記以外の国産車は4パルスになります。

3. スロットル全閉電圧設定モード

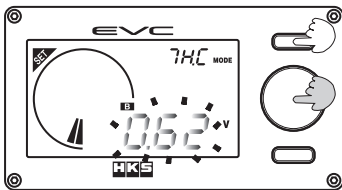
スロットル信号入力を使用する場合に、スロットルが全閉状態での電圧値をEVCに記憶させます。オートでの設定とマニュアルでの設定が可能です。



- (1) 「スロットル全閉電圧設定モード」の時に、ボリュームを押してください。
 - ・デジタル表示(小)は[7HC]と表示されています。
 - ・ビッと鳴り、設定値が点滅します。
 - ・"SET"が点灯します。



- (2) 現在のスロットル電圧が表示されます。オートでの設定は、画面に**A**が表示されている状態でスロットルの引っかかりがなく、完全に全閉状態になっていることを確認し、スロットルペダルから足を離してボリュームを押してください。
 - ・ビッと鳴り、スロットル全閉時の電圧が決定されます。



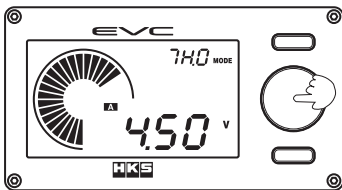
- (3) マニュアルでの設定をする場合は、デジタル表示(大)が点滅している状態でボタン①を押してください。画面に**B**が表示され、ボリュームでの電圧設定が可能となります。
 - ・ボリュームを回してスロットル全閉時の電圧を設定してください。
 - ・設定が終了したらボリュームを押してください。
 - ・ビッと鳴り、スロットル全閉時の電圧が決定されます。

参考

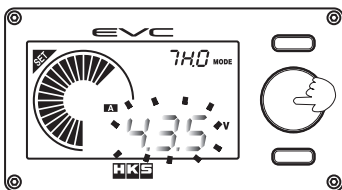
- ・初期値は、0.50Vです。

4. スロットル全開電圧設定モード

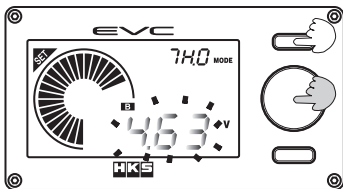
スロットル信号入力を使用する場合に、スロットルが全開状態での電圧値をEVCに記憶させます。



- (1) 「スロットル全開電圧設定モード」の時に、ボリュームを押してください。
 - ・デジタル表示(小)は[7HO]と表示されています。
 - ・ビッと鳴り、設定値が点滅します。
 - ・"SET"が点灯します。



- (2) 現在のスロットル電圧が表示されます。オートでの設定は、画面に**A**が表示されている状態でエンジンが停止しているのを確認し、スロットルペダルをストッパーに当たるまで踏み込んでボリュームを押してください。
 - ・ビッと鳴り、スロットル全開時の電圧が決定されます。



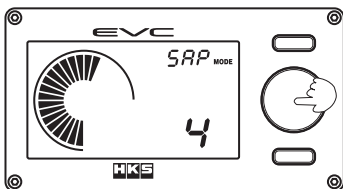
- (3) マニュアルでの設定をする場合は、デジタル表示(大)が点滅している状態でボタン①を押してください。画面に**SEL**が表示され、ボリュームでの電圧設定が可能となります。
- ・ボリュームを回してスロットル全開時の電圧を設定してください。
 - ・設定が終了したらボリュームを押してください。
 - ・ピッと鳴り、スロットル全開時の電圧が決定されます。

参考

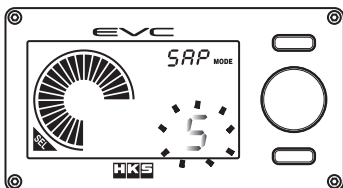
- ・初期値は、4.50Vです。

5. サンプルタイム設定モード

通常は設定する必要はありませんが、ハンチングの発生などでブーストが安定しない場合に設定を変更してください。



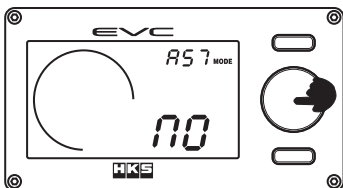
- (1) 「サンプルタイム設定モード」の時に、ボリューム押ししてください。
- ・デジタル表示(小)は[5AP]と表示されています。
 - ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
 - ・"SEL"が点灯します。



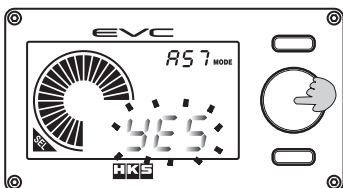
- (2) ボリュームを回して、サンプルタイム番号を選択してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。
- ・設定値は、1・2・3・4・5のいずれかを選択できます。
 - ・初期状態では、4が設定されています。

6. オールリセットモード

記憶されている全ての設定値を初期状態にします。



- (1) 「オールリセットモード」の時に、ボリュームを1秒以上押し続けてください。
- ・デジタル表示(小)は[RS7]と表示されています。
 - ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
 - ・"SEL"が点灯します。



- (2) ボリュームを回して、"YES"と"NO"から選択してください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。
- ・"NO"を選択するとリセットは行われず、デジタル表示(大)は点滅から点灯に戻ります。
 - ・"YES"を選択すると、全ての設定値は初期状態へクリアされ「2. 初期設定」へと移ります。

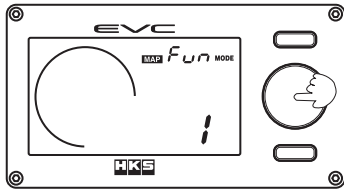
参考

- ・初期設定をやり直す場合や、ロックナンバーを忘れてしまった場合にリセットを行ってください。

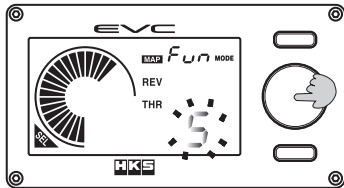
マップ設定グループ

1. マップ機能設定モード

過給圧補正マップのオン/オフや、使用する信号を選択します。



- (1) 「マップ機能設定モード」の時に、ボリュームを押してください。
- ・デジタル表示(小)は[Fun]と表示されています。
 - ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
 - ・"SEL"が点灯します。



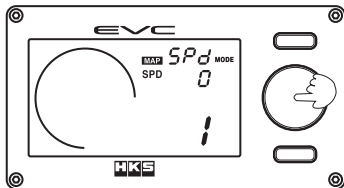
- (2) ボリュームを回して、機能の選択をしてください。設定が終了したらボリュームを押して決定します。
- ・設定は1:マップを使用しない/ 2:スロットル開度補正(THR)/3:エンジン回転数補正(REV)/4:車速補正(SPD)/5: REV+THR/6: SPD+THRの6種類から選択できます。
 - ・初期状態では、1が設定されています。
 - ・左図は5を選択した場合を示しています。

参考

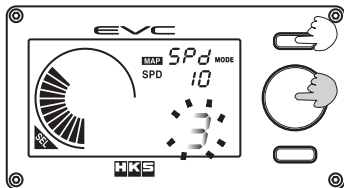
・選択した信号のみ、通常モードでは表示します。

2. 車速軸格子点設定モード

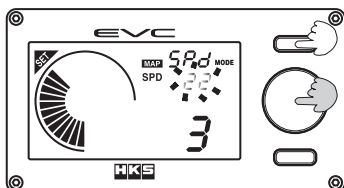
マップに使用する、車速軸格子点(車速によるマップの分割点)を変更することができます。



- (1) 「車速軸格子点設定モード」の時に、ボリュームを押してください。
- ・デジタル表示(小)は[SPd]と表示されています。
 - ・ピッと鳴り、デジタル表示(大)が点滅します。
 - ・"SEL"が点灯します。
 - ・表示される車速は、実際の1/10となります。
 - ・格子点は全部で5つあり、車速の小さい方から順に格子点番号1~5が対応します。



- (2) ボリュームを回して、変更する格子点を選択してください。ボタン①を押して、対応する車速を変更します。
- ・格子点番号を変更すると、対応する車速設定の表示も変化します。
 - ・ボタン①を押すと(3)へ移動し、"SEL"が消灯し"SET"が点灯して、デジタル表示(大)の点滅から、車速/エンジン回転数表示の点滅へと変わります。



- (3) ボリュームを回して、格子点に対応した車速を変更して下さい。
- ・他の格子点に対応した車速を変更する場合は、ボタン①を押して(2)に戻して下さい。変更しない場合はボリュームを押して下さい。

故障と思う前に

本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、下記の症状と照らし合わせて、配線・配管等の確認をしてください。

症 状	原 因	確認事項・対処方法
電源が入らない	電源線が接続されていない	スプライスを確実に噛み込ませる
	アース線が接続されていない	接続箇所の塗装・サビを除去する
エラーが表示される	通信が正常に行われていない(1) (エラー No.001の場合)	バルブや中継ハーネスを確実に接続した上でイグニッションを一度OFFにし、再度イグニッションONにする
	通信が正常に行われていない(2) (エラー No.100の場合)	走行中の振動などによって通信が瞬断していないか、各ハーネスの取付を確認する
ブーストが安定しない ブーストが設定値まで上がらない	アクチュエータの特性 ウエストゲートバルブの面積やストロークの不足 タービンの容量不足	取付け前の車両の特性を把握した上で取付ける、設定可能範囲内で再度設定する
	プライマリタービンしか作動していない	セカンダリタービンが作動する条件で走行してみる
ブースト制御不能	初期設定不良	リセットを行い、初期設定をやり直す
	排気バイパスタイプの設定ミス	EVCパワーON時、ディスプレイユニットに表示される排気バイパスタイプを確認し、間違っている場合は設定し直す
	ホースの抜け・割れ エアフィルタが詰まっている	ホースを確実に固定する、又は交換する エアフィルタを交換する
ワーニング機能が作動する (スクランブル時)	ワーニングの設定値が設定ブーストより低い	ワーニングの設定値を上げる、又は設定ブーストを下げる
	スクランブル設定値が高い	スクランブル設定値を下げる
設定値が変更できない	ロックナンバー(データロック機能)が有効になっている	ロックナンバー(データロック機能)を解除する

異常・故障時の対応

警告

- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店、又は(株)エッチ・ケー・エスお客様相談室にお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

注意

- 故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
 - 走行中、異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。
- 故障の際は、保証書に必要事項等が記入・捺印されていることを確認し、保証書に症状を記入のうえ、修理を依頼してください。

保証について

本製品は「保証書」の内容に従って保証されています。「保証書」をよくお読みいただき、お買い上げ日・店名・住所が記入・捺印されていることを確認のうえ、必要事項を記入し、大切に保管してください。記入もれがありますと、保証期間中でも有償となります。

■販売店様へ

本製品は「保証書」の内容に従って保証されています。「保証書」をよくお読みになり、販売日・貴店名・住所を記入・捺印のうえ、お客様に渡してください。記入もれがありますと、保証期間中でも有償となります。

保証期間：お買い上げ日より1年間

アフターサービスについて

本製品に関する問い合わせ、及びオプションパーツ・消耗部品・紛失部品等の購入は、お買い上げの販売店又は(株)エッチ・ケー・エスお客様相談室にお問い合わせください。

譲渡等の際の注意

本製品を譲られるときは、必ず次のオーナーのためにこの取扱説明書と、保証書等を一緒に渡してください。

本製品を車両より取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。このとき、専門業者に取扱説明書をお渡しください。

注意

- 本製品を取外した後、車両側の線は必ずテープ等で絶縁してください。
ショートによって電装部品を破損・焼損する恐れがあります。

本製品の仕様

- 作動電圧.....DC11~16V
- 制御可能圧力.....ノーマルブースト~250kPa
- 動作可能温度 ディスプレイユニット.....-10°C~70°C
バルブ.....-30°C~80°C
- 最大消費電力.....5.0W

用語の説明

- 過給圧制御ソレノイドバルブ：ノーマルのブースト制御装置
- 高温になる場所：直射日光の当たる場所・ヒーターの吹き出し口・エキゾーストマニホールドの近く等。
- コードNo.：HKS製品及び部品を注文する際に使用する番号。
- 誤使用：加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤った使用。
- 整備書：メーカー発行の車両個々の整備要領書・修理書。
- 専門業者：お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場・ショップ。
- 点検・整備：本製品と自動車全体を安全に運転するために機能・性能を確認し、不具合部位を修理・調整すること。
- 電装部品：車両の電気・電子部品。
- 日常点検：自動車を運行する人が行う点検。日常点検及び点検項目はユーザマニュアルに従って作業を行ってください。
- ノーマル車両：車両購入時の状態である・アフターパーツを取付けていない・事故を起こしたことの無い、以上の条件を満たす車両。
- メーカー：車両の製造メーカー。
- ユーザマニュアル：お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
- IG線：イグニッションスイッチ“ON”時に約12V出力する車両の線。
- 国際単位系(SI)：1969年に国際標準化機構(ISO)でも採用された、世界標準の単位系。
(工学単位系との変換は換算表を参照してください)

工学単位⇔SI系 単位換算表例

名称	工学系=換算計数・SI系	SI系=換算計数・工学系
出力	1PS=0.735kW	1kW=1.36PS
トルク	1kgf・m=9.81N・m	1N・m=0.102kgf・m
圧力	1kgf/cm ² =98.1kPa	1kPa=0.0102kgf/cm ²
	1PSI=6.895kPa	1kPa=0.14504PSI
大気圧	1mmHg=0.1333kPa	1kPa=7.50mmHg

改訂の記録

Ver.	日付	記載変更内容
3-1.01	2006/8	初版